

コメント

1. 流行性耳下腺炎

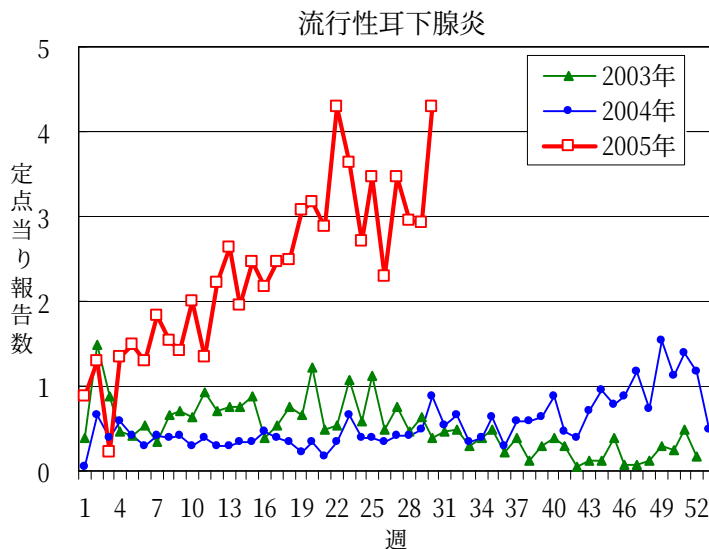
定点当り4.29人とやや増加しており、今年最も多かった第22週と同じ報告数となっています。安佐北区11.3人、安芸区6.5人、中区5.3人と特に多く、東区3.3人、南区2.7人となっています。

2. 手足口病

定点当り9.88人とやや減少しています。3週続けて減少していますが、依然として例年に比べて報告数の多い状態が続いています。なお1人の患者から、コクサッキーウイルスA16型が検出されました。

3. ヘルパンギーナ

定点当り1.58人とやや増加しています。安佐北区では8.0人と特に多くなっています。



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ (注2)	-	-	-		麻疹 (注3)	-	-	0.08	
咽頭結膜熱	9	0.38	0.66		流行性耳下腺炎	103	4.29	0.90	↗
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	9	0.38	0.68		RSウイルス 感染症	-	-		
感染性胃腸炎	90	3.75	2.26	↗	急性出血性 結膜炎	1	0.13	0.05	
水痘	23	0.96	0.83	↗	流行性角結膜炎	9	1.13	2.00	
手足口病	237	9.88	3.42	↗	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	7	0.29	0.39		無菌性髄膜炎	3	0.43	1.46	
突発性発しん	25	1.04	0.90		マイコプラズマ 肺炎	1	0.14	0.12	
百日咳	4	0.17	0.03		クラミジア肺炎 (注4)	-	-	0.09	
風しん	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	38	1.58	3.14	↗					

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね 1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

注1) 過去5年間の同時期平均 (定点当り)
注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
注3) 成人麻疹を除く
注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
4	レジオネラ症	1	3	男性(60歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	8	男性(40歳代)

5類感染症報告状況の推移 定点把握対象分)

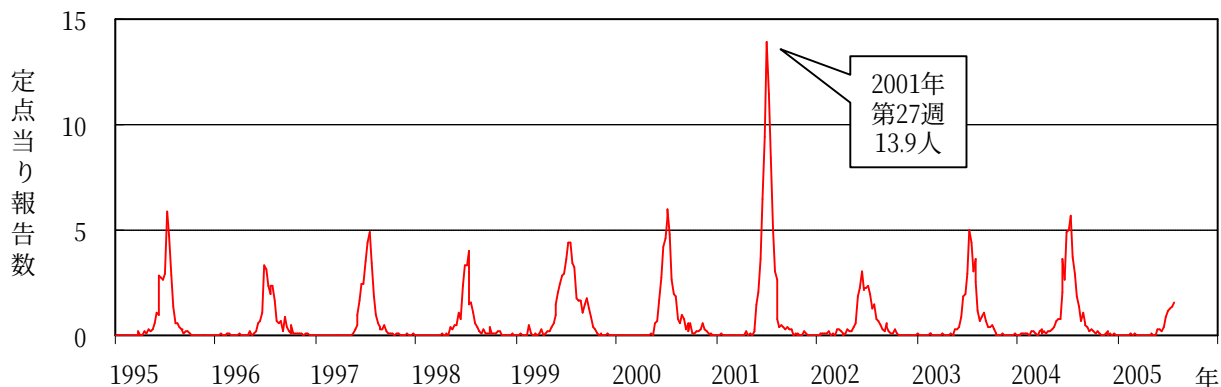
		インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	第26週	-	10	22	103	40	252	15	27	3	-	21	-	55	-	-	3	1	2	-	-
		第27週	-	13	27	134	42	501	12	21	1	-	27	-	83	-	1	4	-	2	-	-
		第28週	-	16	19	100	25	452	17	20	1	-	30	-	71	-	-	-	5	-	-	-
		第29週	-	6	10	71	32	287	8	19	-	-	32	-	70	-	3	-	4	-	-	-
		第30週	-	9	9	90	23	237	7	25	4	-	38	-	103	-	1	9	-	1	-	-
定点当り	広島市	第26週	-	0.42	0.92	4.29	1.67	10.50	0.63	1.13	0.13	-	0.88	-	2.29	-	-	0.38	0.14	0.29	-	-
		第27週	-	0.54	1.13	5.58	1.75	20.88	0.50	0.88	0.04	-	1.13	-	3.46	-	0.13	0.50	-	0.29	0.14	-
		第28週	-	0.67	0.79	4.17	1.04	18.83	0.71	0.83	0.04	-	1.25	-	2.96	-	-	-	0.71	-	-	-
		第29週	-	0.25	0.42	2.96	1.33	11.96	0.33	0.79	-	-	1.33	-	2.92	-	-	0.38	-	0.57	-	-
		第30週	-	0.38	0.38	3.75	0.96	9.88	0.29	1.04	0.17	-	1.58	-	4.29	-	0.13	1.13	-	0.43	0.14	-
	全国	第28週	0.18	0.64	1.06	2.87	1.20	2.30	0.44	0.76	0.01	0.01	6.04	0.01	1.46	0.03	1.11	0.02	0.07	0.27	-	-
		第29週	0.17	0.56	0.74	2.52	1.26	1.98	0.32	0.71	0.01	0.01	4.51	-	1.46	0.03	1.06	0.01	0.06	0.30	0.01	-

注1) 高病原性鳥インフルエンザを除く (注2) 成人麻しんを除く (注3) オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	10	女	2005/06/23	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
手足口病	5	男	2005/06/22	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA16型
流行性耳下腺炎	8	男	2005/06/19	髄液	ムンプスウイルス
咽頭炎	3	男	2005/06/21	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
不明の発疹症	1	女	2005/06/17	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
不詳	7	男	2005/06/19	髄液	ムンプスウイルス

【参考】広島市におけるヘルパンギーナの定点当り報告数の推移 (1995年～2005年第30週)



ヘルパンギーナは、発熱と口の中に水疱ができることが特徴で、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。

例年、5月ごろから患者が増加し始め、6～7月にピークを向かえます。最近の広島市では、2001年に大きな流行がみられました。

今年は流行期になっても報告数が少なく、1995年以降では最も少ない報告数で推移しています。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第30週 (7月25日～7月31日)